

高校地理プリント（過去問類似）  
人口・都市・生活文化 No.8

名前

得点

/10

問1 1950年時点では1億人未満であったが、第二次世界大戦後の急激な人口増加や農村から都市への人口流入を背景に一貫して増加し、2000年には3億人を超える規模に達した、特定の大陸における人口区分は何か。（2010年 全国公立入試 類似）

1. アフリカの都市人口      2. ヨーロッパの都市人口      3. アジアの都市人口      4. アフリカの農村人口

問2 南アジアに位置し、人口の多くがヒンドゥー教を信仰している。この宗教では牛が神聖視されているため牛肉の消費が忌避されるほか、厳格な菜食主義者も多いため、経済規模に対して1人あたりの肉類消費量が極めて少ない国はどこか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. イラク      2. インド      3. ラオス      4. イラン

問3 日本の人口構造の推移において、15歳以上65歳未満の人口区分を何というか。この人口区分に対する年少人口と老年人口の合計の比率は、高度経済成長期から1990年頃にかけて低下し、日本に経済成長をもたらす要因となったが、その後の少子高齢化により再び上昇傾向にある。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 年少人口      2. 老年人口      3. 従属人口      4. 生産年齢人口

問4 カリブ海地域における人口移動は、かつての宗主国との歴史的・言語的なつながりに強く影響されている。旧イギリス領であり、英語系の言語が話されていることから、かつての宗主国であるヨーロッパの国への移住者を多く送り出している島国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ジャマイカ      2. ドミニカ      3. パルバドス      4. セントルシア

問5 インドにおいて、衛生的なトイレの普及を阻む要因の一つとして、特定の宗教における「浄・不浄」の観念が挙げられる。同国で全人口の約8割を占め、カースト制度の背景ともなっているこの宗教は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ユダヤ教      2. イスラーム教      3. ヒンドゥー教      4. キリスト教

問6 南アジアの大国インドにおいて、全人口の約8割を占める多数派の信者を持ち、牛を神聖視するなどの生活習慣や、歴史的な身分制度であるカースト制度と深く結びついている宗教の名称を答えよ。（2005年 全国公立入試 類似）

1. キリスト教      2. ジャイナ教      3. ヒンドゥー教      4. イスラム教

問7 ヨーロッパにおいて、ゲルマン語派に属する言語、ラテン語派に属する複数の言語、およびロマンシュ語の計4つの言語を公用語として定めており、地域ごとに異なる言語が使用されつつも、それぞれの言語の権利が尊重されている永世中立国はどこか。（2010年 全国公立入試 類似）

1. ドイツ      2. チェコ      3. ロシア      4. スイス

問8 18世紀以降、東インド会社を通じたアジアからの輸入や、アフタヌーンティーに代表される生活習慣の定着により、伝統的に茶の消費量が極めて多い一方で、コーヒーの消費量も一定水準存在する、ヨーロッパ西部の島国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. スペイン      2. イタリア      3. フランス      4. イギリス

問9 南アメリカのアンデス山脈沿いに位置するボリビアやペルーなどの国々において、スペインによる植民地支配を経た現代でも、人口構成において最も高い割合を占めている、コロンブス到達以前から現地に居住していたモンゴロイド系の系統を引く人々の一般的な呼称は何か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 先住民      2. 中国系      3. 日系人      4. 欧州系

問10 都市内部における諸機能の立地について、ビジネスや商業活動の利便性を重視し、都市の中心業務地区（CBD）や中心市街地に高度に集中して立地する傾向が最も強い施設を何というか。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 銀行      2. 交番      3. 病院      4. 工場

## 答え合わせ・解説 No.8

問1	<b>答え 1</b> アフリカの都市人口	第二次世界大戦後のアフリカでは、医療技術の普及などによる自然増加率の高さに加え、仕事を求めて農村から都市へ人口が大量に流入する都市化が急速に進んだ。このため、1950年には1億人に満たなかった都市人口は、2000年には3億人を超える規模へと急増した。
問2	<b>答え 2</b> インド	インドでは人口の約8割をヒンドゥー教徒が占めており、牛を神聖な動物として崇めるため牛肉の消費が禁忌とされている。また、イスラム教徒も一定数存在し豚肉を忌避すること、さらに殺生を嫌う教義から完全な菜食主義者（ベジタリアン）の割合が非常に高いことなどから、国全体の肉類消費量は極めて低く抑えられている。
問3	<b>答え 4</b> 生産年齢人口	15歳以上65歳未満の人口区分は生産年齢人口と呼ばれる。生産年齢人口に対する、年少人口（15歳未満）と老年人口（65歳以上）の合計の比率（従属人口指数）が低下することは、働く世代の負担が相対的に軽く、経済成長を促しやすい状態（人口ボーナス）を意味する。日本では1990年頃にこの指数が最低となったが、その後の少子高齢化により生産年齢人口が減少したため、指数は上昇している。
問4	<b>答え 1</b> ジャマイカ	カリブ海諸国からの移民の流出先は、かつての宗主国との歴史的・言語的なつながりに強く影響される。旧イギリス領のジャマイカからは、英語系の言語が話されているため、英語圏のイギリスへの移住が多くみられる。一方、旧フランス領のハイチからはフランスやカナダへの移住が多い。
問5	<b>答え 3</b> ヒンドゥー教	インドにおける衛生環境の改善、特にトイレの普及において、ヒンドゥー教の伝統的な「浄・不浄」の観念が影響を与えている。ヒンドゥー教では、排泄行為や排泄物を極めて不浄なものとするため、住居の敷地内にトイレを設置することを忌避する傾向が一部の農村部などで根強く残っていた。このため、政府によるトイレ建設事業だけでなく、住民の意識改革を促す啓発活動が重要視された。
問6	<b>答え 3</b> ヒンドゥー教	インドでは全人口の約80%がヒンドゥー教を信仰しており、これが同国最大の宗教となっている。仏教の起源の地であるものの、現在のインドにおける仏教徒の割合は1%未満と極めて小さい。ヒンドゥー教は多神教であり、カースト制度（ヴァルナ・ジャーティ制）による社会階層や生活規範と密接に結びついている。
問7	<b>答え 4</b> スイス	スイスでは、人口の多数を占める地域で話されるドイツ語（ゲルマン語派）のほか、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語（いずれもラテン語派）の4つの言語が公用語として認められている。このように、複数の言語グループが共存し、それぞれの言語の権利が憲法で保障されている多言語国家体制が特徴である。
問8	<b>答え 4</b> イギリス	18世紀以降、東インド会社を通じて中国などから茶（紅茶）が輸入され、貴族階級から庶民へと喫茶の習慣が広がった。アフタヌーンティーなどの独特の生活文化が定着した結果、この国では茶の消費量が世界的に見ても非常に多い。また、近年はコーヒーの消費も拡大している。
問9	<b>答え 1</b> 先住民	アンデス高地では、インカ帝国などの高度な文明が栄えていたため人口密度が高く、スペインの植民地支配下に入った後も、ヨーロッパ系との混血が進みつつも、先住民（インディヘナ）の系統を引く人々が多数派として残り続けた。これに対し、アルゼンチンなどではヨーロッパ系、ジャマイカなどではアフリカ系が多数を占める。
問10	<b>答え 1</b> 銀行	金融機関や企業の管理部門などは、業務効率や取引の利便性を高めるため、交通アクセスが良く情報が集積する中心業務地区（CBD）や中心市街地に高度に集中して立地する。これに対し、小学校は市街地全域に分散し、大型小売店は郊外の主要道路沿いに立地する傾向がある。